

FREELY

～立体住区 道と人～



山本貴英
建築設計画研究室

1.コンセプト

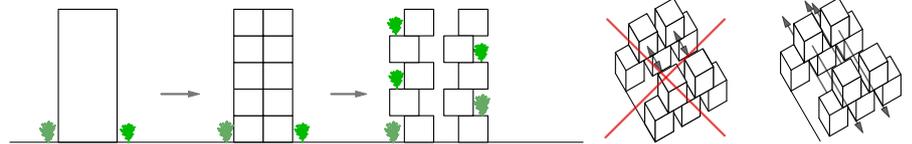
みなとみらいに単調なマンションやオフィスビルが多いことに疑問を感じた。とくに何百戸、何千人もの人々が住まう都市型の大規模集合住宅はただ同じ層が上に積み上がり同じ間取りの部屋が並んでいくのではなく、個性や主張を発信し立体都市として隣の住人など近くに人を感じられるような多様な間取りがあり、今までただ移動するためだけだった廊下、通路部分を道としてとらえ住まう人々の生活の様子が道に張り出してくることが重要だと思った。

2.プログラム

全体のプログラムとしては、現在計画されている集合住宅、ホテル、商業施設の機能を入れ込む。住戸は400戸、ホテルは100室、商業施設は23店舗入りその中には住民の為にライブラリーやジム、保育施設、美容室などを計画する。住戸へのアプローチは3通り。一つは大階段を上りそれぞれの住棟の縦導線へ。二つ目はそれぞれのショップの脇にある縦導線から上がっていくもの。三つ目は駐車場からそのまま上がっていくもの。どれも道を通り上がっていく計画である。

3.デザイン

全体のカタチとして同じ層が積み上がっていることを意識させない外観デザインにするためにボリュームを20m×20mの箱に分け、つみあげた。箱と箱の間の空間には植栽を配置でき上層階でも緑に触れることが可能になる。この空間は町の公園のような雰囲気でも道の延長にある人々の集まれる場となるように設計した。いままで廊下、通路だった部分は人々が行き交い自然と交流が生まれるようにテラスに抜ける道や土間と繋がり趣味の様子が見えてくる雰囲気から道の賑わいが生まれてくる。



1階～3階には商業施設を配置する。そして北側には駐車場を配置。計103台駐車可能。南側にはホテルのエントランスを配置。この商業施設は都市の道をイメージし計画した。中心に道が通りそれに沿う形で店舗が配置される。

1階～3階までのアプローチとして外部に大階段を配置した。これも道をテーマに利用者の視線を向けさらに上がってみたいくなるような意識を与える。



1階平面図



4.敷地

住所:神奈川県横浜市西区みなとみらい6-3

現在は空き地だがMM59街区B区再開発計画が予定されている。このB区では岡田ビル株式会社による商業施設(ホテル、集合住宅、店舗)が計画されている。着工は平成26年9月、竣工は平成29年2月。この計画の施設規模は地上27階.地下1階

高さ 約99m

敷地面積 :約9,100㎡

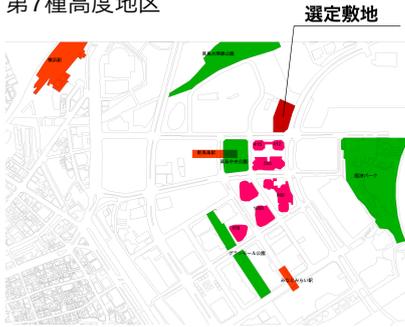
高さ制限 :100m

都市計画 (用途地域):商業地域

建ぺい率80%. 容積率600%

防火地域

第7種高度地区



5.面積概要

1F...6146.67㎡

ホテル...5324㎡ (100室)

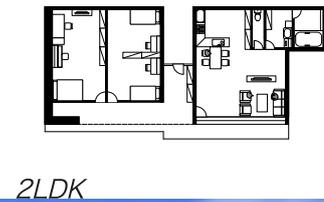
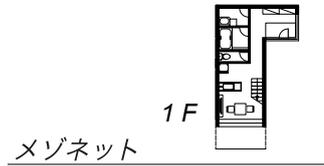
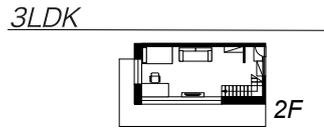
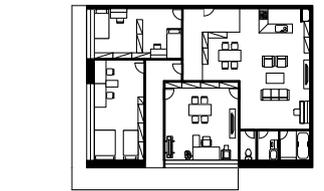
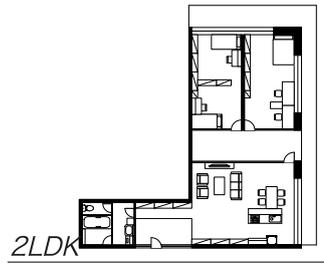
2F...6146.67㎡

3F...5792.8㎡

住戸面積...45792㎡ (450~500戸)

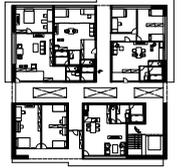
容積率 730.46%

建蔽率 67.54%



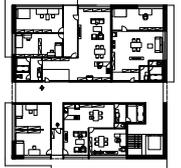
6F

2LDK
x3



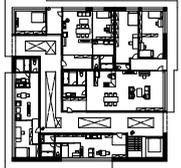
5F

2LDK
x2
1LDK
x1



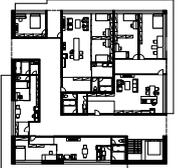
4F

2LDK
x2
1LDK
x2



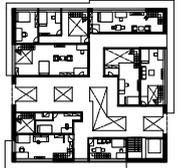
3F

2LDK
x2
1LDK
x2



2F

メゾネット
2F



1F

メゾネット
1F
1LDK
x8

